

24 サケ

(サケ科)

兵庫県ランク:要調査

Oncorhynchus keta

環境省ランク:-

種の概要

全長75 c m程度。産卵は秋から冬にかけて、緯度によって大きく異なり、北方ほど早い。砂礫底に雄が産卵床を掘り、雌とともに産卵放精を行う。産卵後、親魚は死亡する。孵化した稚魚は早春に降海し、3～4年の海洋生活を経て生まれた川に遡上する。国内では利根川及び福岡県遠賀川以北の北日本に分布する。



写真提供:兵庫県立人と自然の博物館(撮影:増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海側の主要な水系（岸田川、矢田川、佐津川、竹野川、円山川）から確認されている。現在見られるものが在来個体群か、放流に由来するものか不明であり、遺伝的な精査が必要である。

保護上の留意点

本種が再生産できる環境を整えるには、親魚の遡上を妨げる堰堤などの河川横断工作物に魚道を設置する必要がある。また、産卵環境として、河川の中・下流域に伏流水の流れる平瀬（砂礫が固まっていない浮き礫状態のもの）が必要である。酸素を含んだ伏流水の存在は、受精卵の孵化率を大きく左右する。このような環境を自然な形でつくるには、土砂流入・流下サイクルの復活と、適度の出水・攪乱による瀬と洲の再配置が求められる。

県内分布

豊岡市、養父市、香美町、新温泉町

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	△
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	○
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

